

令和2年度 指定管理者年度評価シート

| | |
|----------|---|
| 施設名称 | 大阪市立信太山青少年野外活動センター |
| 施設所管課・担当 | こども青少年局企画部青少年課（電話：06-6208-8157） |
| 条例上の設置目的 | 野外活動の場を提供することにより健全な青少年の育成を図ることを目的とする。 |
| 業務の概要 | (1) 青少年の野外活動のための施設を提供すること (2) 青少年の野外活動に関する相談及び指導 (3) 青少年の野外活動の機会の提供 (4) 青少年の野外活動に関する指導者の育成 (5) その他市長が必要と認める事業 |
| 成果指標 | 年間利用者数／宿泊室稼働率 |
| 数値目標 | 72,620人／72.5% |
| 指定管理者名 | 一般財団法人 大阪市青少年活動協会 |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日 |
| 評価対象期間 | 令和2年4月1日～令和3年3月31日 |

2 管理運営の成果・実績

| | | |
|------|---------|-------------------|
| 成果指標 | 年間利用者数 | 宿泊室稼働率 (青少年の家) |
| 数値目標 | 72,650人 | 72.5% |
| 年度実績 | 26,168人 | 28.6% |
| 達成率 | 36.0% | 39.4% |

利用状況

| | | | |
|-------------------|---------|---------|-------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | 26,168人 | 67,343人 | 38.9% |
| 宿泊室稼働率 (青少年の家) | 28.6% | 63.1% | 45.3% |

3 収支状況

| 収入 | | 当年度 | 前年度 | 差異 (当年度実績-当年度計画) | 主な要因 |
|--------|----|-------------|-------------|---------------------|--|
| 業務代行料 | 実績 | 61,213,252 | 62,209,921 | 0 | |
| | 計画 | 61,213,252 | 60,711,872 | | |
| 利用料金収入 | 実績 | 7,759,170 | 23,786,270 | -17,544,130 | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の臨時休館や施設利用人数の制限等による施設利用者数の減 |
| | 計画 | 25,303,300 | 24,847,500 | | |
| その他収入 | 実績 | 16,160,844 | 30,472,786 | -19,727,369 | ・利用料金収入に同じ (なお、当年度実績には、大阪市からの補填額5,281,538円を含む。) |
| | 計画 | 35,888,213 | 35,078,824 | | |
| 自主事業収入 | 実績 | 4,277,543 | 5,552,383 | -2,065,383 | ・利用料金収入に同じ |
| | 計画 | 6,342,926 | 6,151,031 | | |
| 合計 | 実績 | 89,410,809 | 122,021,360 | -39,336,882 | |
| | 計画 | 128,747,691 | 126,789,227 | | |

| 支出 | | 当年度 | 前年度 | 差異 (当年度実績-当年度計画) | 主な要因 |
|--------|----|-------------|-------------|---------------------|---|
| 人件費 | 実績 | 51,122,368 | 56,564,619 | -5,554,432 | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応したマルチスタッフ化、変形労働時間制導入等による人件費の減 |
| | 計画 | 56,676,800 | 56,676,800 | | |
| 物件費 | 実績 | 27,379,010 | 31,383,418 | -6,470,670 | ・施設利用人数の減に伴う光熱水費の減等 |
| | 計画 | 33,849,680 | 32,754,212 | | |
| その他事業費 | 実績 | 7,246,018 | 27,477,058 | -24,722,202 | ・施設利用人数の減に伴う給食提供の減等 |
| | 計画 | 31,968,220 | 31,243,416 | | |
| 自主事業支出 | 実績 | 3,740,793 | 5,498,707 | -2,512,198 | ・施設利用人数の減に伴うプログラム物品提供の減等 |
| | 計画 | 6,252,991 | 6,114,799 | | |
| 合計 | 実績 | 89,488,189 | 120,923,802 | -39,259,502 | |
| | 計画 | 128,747,691 | 126,789,227 | | |

令和 2 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価 (1次評価)

(1) 成果指標の達成

| 評価項目 | 達成率 | 評価 | 特記事項 |
|----------------|-------|----|---|
| 年間利用者数 | 36.0% | — | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、評価を「—」とした。 |
| 宿泊室稼働率 (青少年の家) | 39.4% | — | 同上 |

(2) 市費の縮減

| 市費の縮減に係る取組状況 | 評価 | 特記事項 |
|--|----|------|
| 【人件費】 ・職員のマルチスタッフ化や変形労働時間制の導入による効率的な人員配置等を行った。 【物件費】 ・各種設備の維持点検や保全業務について、入札又は見積合わせの実施 ・光熱水費について、過年度の利用状況を踏まえた定量的な監視に努めるなど、使用量の適正化を図った。 | B | |

(3) 管理運営の履行状況

| 評価項目 | 評価 | 特記事項 |
|---------------------|----|------|
| 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 | | |
| 施設の管理運営 | B | |
| 事業計画の実施状況 | B | |
| 施設の有効利用 | B | |
| 社会的責任・市の施策との整合性 | B | |

5 利用者ニーズ・満足度等

| |
|---|
| 【利用者アンケート】 ・スタッフ対応：満足 90%、普通 10% ・施設利用：満足 84%、普通 16% ・その他、感想・意見 「整った設備で快適に利用できた。」、「スタッフは、野外活動の知識、技術も豊富。気持ちよく対応してくれるので、安心して利用できた。」など、肯定的な意見が多かった。 |
|---|

令和2年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

- ・新型コロナウイルスの影響により、成果指標（利用者数や稼働率）が未達成となっているのはやむを得ない。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について実施している。
- ・学校等の団体利用者が減少していることから、施設利用促進やサービス向上の観点から、例えば施設から学校へ赴いて、野外活動の指導やプログラムを実施するといった活動も検討されてはどうか。
- ・青少年が野外で活動できる施設が減ってきている状況もあり、今後とも施設を維持できるよう努められたい。

7 最終評価

| 評価項目 | 評価 | 所見 |
|---------------------|----|---|
| 成果指標の達成 | — | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、適切な評価ができないと判断した。 |
| 市費の縮減 | B | ・施設利用者数の減少に対応した効率的な人員配置や、省エネ・省資源の取組みなど、施設運営全般にわたり常にコスト意識を持って経費縮減に努めていた。 |
| 管理運営の履行状況 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの施設の運営で培ってきた知識や経験等を十分に活かし、運営方針の最優先事項である「利用者の安全」に適切かつ臨機応変に対応できていた。 ・また、新型コロナの感染状況等を勘案しつつ、可能な限り事業を実施するだけでなく、「BBQビレッジ」など新たに利用者が見込まれる施設を整備するなど、利用者に対するサービスの向上に努めていた。 ・本市広報紙への情報提供だけでなく、近隣（和泉市内）の公共施設や商業店舗にリーフレットやチラシを配布するなど、施設の積極的なPR等に努めていた。 ・職員の育成については、OJTに加え、外部研修等にも積極的に参加させており、研修で得た技能・知識も施設内で共有するなどして、事業企画等に活用していた。 |
| 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 | | |
| 施設の管理運営 | | |
| 事業計画の実施状況 | | |
| 施設の有効利用 | | |
| 社会的責任・市の施策との整合性 | | |
| 総合評価 | B | |